



高水地協ニュース

〒383-0025 中野市三好町 1-1-19 Tel.0269-23-0505 Fax.0269-38-0575

連 合 長 野
高水地域協議会

○ 発行責任者 小林 君男
○ 編集責任者 岩本 淳一

<号外>

衆議院議員選挙

投票日まで残り3日。組合員へ投票の呼び掛けを！

総選挙の投票日まで、いよいよ残り3日となりました。大変厳しい状況ですが、あともうひと踏ん張り、『しのはら孝』候補者の必勝を期して、今こそ私たち労働組合の底力を見せましょう。

とにかく、全員が投票に行くことです。頭の中で「この悪政を何とか変えなければ」と思っている、意思を託して投票しなければ、今の政治は変わることはありません。

是非、労組内で組合員との対話集会をもち、「みんなで投票に行こう！」の呼び掛け運動をお願いします。

安倍総理は、もっと権力を強固にして力で法案を通すために、ここで一度選挙をしたいとして、わざと野党が選挙準備の整っていない時期、投票率が上がらない時期を狙って、大義なき解散・年末の総選挙に踏み切ったと言われています。“投票率が下がれば自民党は大勝する”と高を括り、報道側も「後押しにやっきとなっている」としか思われません。

この選挙で自民党が大勝すると、自民党・安倍政権の思うままに、国民が“待った”をかけられない道へと、ドンドン突き進んでしまいます。

このままでいいのか！ 今、私たちの投票で流れを変えよう！

連合本部) 神津事務局長

先週の金曜日、新聞各紙が一斉に報道した総選挙に関する世論調査の結果に驚かれた方も多かったことと思います。なにしろ、大義なき解散と言われて、実際に7割もの人がおかしいと言っていたのに、各紙の報道は自民党が300議席を超える勢いだということです。安倍総理でさえ、自公で過半数が目標などと、相当に“堅め”の予防線を張っていたぐらいですから、多少のビビりはあったはずですが、300議席を軽く超えるというような調査結果については、笑いを噛み殺していることでしょう。

なぜこのような調査結果なのか？ 私は一言で言えば、多くの日本人が持つ政治に対する距離感と、この小選挙区比例代表並立制という制度が合わさると、こういう結果が生じかねないということだと感じています。そして、この制度は投票率の僅かな違いで大きな振幅が生じるという、とても恐ろしいことです。しかし、同時に言えば、実際の有権者の投票行動次第では、まだまだ大きな変化もあり得るということ。これも一方の真実として、認識しておきたいと思います。いづれにしても、政治が一方に偏ることは大変に危険なことだと思います。

安倍総理は「この道しかない」と叫んでいますが、それはどういう道でしょうか？

一つ、それは労働者保護ルール改悪の道です。安倍総理はドリルで岩盤に風穴をあけると公言されています。この道の先にあるのは生涯派遣で低賃金、残業代ゼロ法案で過労死増大、そして解雇の金銭解決、外国人労働力の流入拡大などな

ど——。こんなことでは、働く者の意欲や国の活力は失われるばかりです。

二つ、経済格差拡大の道です。安倍政権は、あらゆる手を使って株価の引き上げに躍起です。まともな経済運営によって株価が上がるのであれば、こんなに素晴らしいことはないのですが、この2年間のやり方は明らかに作為の行き過ぎです。異次元の金融緩和の名のもとに、お札をバンバン刷りまくって円安誘導、加えてこともあろうに、私たちが預けている年金積立金まで30兆円以上も株に突っ込もうとしているのです。こんな不自然な株価引き上げは長続きしません。いずれ株価は下がります。暴落すれば私たちの年金積立金がパーになるのです。誰が責任をとるのでしょうか。そういう政権を選んだ国民の責任という話にしかならないのでしょうか。こんな作為を進めれば誰が総理であっても、一時的に株価を上げられるのは当たり前です。その結果、潤っているのはほんの一握りの人達だけです。一方では、とめどない円安のために、食料品や油等の値上げが庶民を直撃しています。連合は、経済の好循環に今必要なことは底上げであって、トリクルダウンではないと主張し続けています。安倍総理の「この道」では経済格差の拡大が進むばかりです。

三つ、この道は日本を海外で戦争する国にする道です。いつか来た道にまた戻ってしまう道です。特定秘密保護法の強行採決、集団的自衛権の閣議決定、さらにその先にあるのは憲法の改悪です。私たちの子供や孫たち、将来の世代にどういう国を残していけるかが問われています。

以上

生活者・労働者の立場に立つ、一票を託すに相応しい政治家

衆議院議員候補者 『しのはら 孝』

